

12月 4日

わだおかつ子

号 外

重点目標「一步ふみだす子」よりよく考え、主体的に行動する

修学旅行の6年生に見た和田岡小がたどり着いた到達点



都内で移動に使ったバスの中。私の席の通路をはさんだ向こう側に紀子先生と、Tさんが座っていた。そして、見学地に到着すると、Tさんは、手すりにつかまりながらタラップを自分自身で降りていった。それどころか、後ろの席のクラスメイトに「忘れ物しないでね。」と優しく声をかけている。どうやら係の仕事らしい。去年の自然教室では先生に抱きかかえられて降車していた子が、ずいぶんたくましくなったものだ。そう思った。そういえば、桜が丘学園音楽交流会の練習の時にもこんな姿を見た。合唱の最中、彼は一生懸命車椅子から立ち上がろうとしていた。私が気持ちを聞くと、「卒業式には杖を手に、歩いて証書をもらいに行きたいから、練習していたんだ。」と、教えてくれた。そのあと、「修学旅行中、うれしかったことは何？」と尋ねると、彼は迷わずこう言った。「班のみんなが僕の車椅子を押してくれたこと。」ああ、ホントに、いい仲間をもったね。

ねむの木学園の創設者である宮城まり子先生は生前こんなふうにおっしゃった。「人は強さも優しさももっています。互いに頼り合ったり、助けあったりしながら生きていく。いつも強い人間なんていない。ずっと弱い人間なんていない。自分が強い時には、弱い人を助けてあげることです。」

校長 梅葉 紳介



【修学旅行班別活動あれこれ】



国立科学博物館、上野動物園、アクアマリンパーク、浅草など、たくさんの班行動の時間があり、その中で力を合わせ貴重な体験をし、たくさんのことを学びとった6年生でした。

桜が丘学園音楽交流会・6年生心の歌「変わらないもの」

11月22日。桜が丘学園音楽交流会が開催されました。和田岡小の6年生は「変わらないもの」を高らかに歌い上げ、子どもたち自身の「変わらない絆」を表現してくれました。素晴らしい歌声でした。その後、桜木小6年生の皆さんの合唱、桜が丘中吹奏楽部の演奏を聴きました。中学校入学に向けて、お互いの良さを知り、親睦を深めた音楽交流会でした。6年生の皆さん、素敵な歌声をありがとう。

